

IR3S・WISPJ マクロ班・ジャーナリズム班・第2回合同研究会・議事録メモ

日時：2009年5月21日（木）19:00-20:30
会場：19号館・アジア太平洋研究科・応接室
出席（敬称略）：松岡（主査）、吉田、太田、瀬川、若田部、長岡、上野
欠席（敬称略）：中村、栗田

1. 今年度の研究計画・研究組織について

（1）インタビュー調査について

- ・今後のインタビュー調査について
経産省：有馬審議官
日経：塩谷論説委員

・マクロ班およびジャーナリズム班として、新聞社等との調査報道に関する連携可能性、政策提案型・政策選択型報道（アジェンダ構築的機能、大学における学術研究とジャーナリズムとの連携）の可能性を検討する。

（2）昨年度の研究報告を踏まえた最終年度の「研究まとめ」について

- ・次回は松岡・吉田論文の検討
- ・次回の研究会（6月中旬頃）では、各メンバーの最終論文案（題名、概要、目次などの1枚もの）を提出する。
- ・7月中には全体の構成（目次）案、日程案を作成する。

昨年度報告書の検討（太田論文「気候変動問題と多国間主義：京都からコペンハーゲンへ」、中村論文「気候変動レジームにおける国際アクターとしてのEU：排出量取引制度（ETS）形成の意義」の検討を行った。

（3）2010年1月29日（金）開催予定のWISPJシンポの企画について

- ・7月中に第1次企画書を作成する
- ・基本テーマ案：気候政策をめぐる政治経済とジャーナリズム
- ・次回の研究会で以下の3セッションの内容を考える。
 - ①気候政策と政治経済学：松岡、吉田、太田
 - ②気候ジャーナリズムの可能性：若田部、瀬川
 - ③気候政策における学術研究とジャーナリズム：全員

（4）研究組織について

- ・社会科学部・黒川哲志教授の参画をお願いする。

2. 次年度以降のWISPJのあり方について

- ・重点領域の検討は夏まで時間がかかる模様なので、もう少し様子を見る。とりあえず外

部資金の獲得に努力を集中する。

3. その他

(1) モンゴル国際シンポ (10/22-10/23) について

堀口、吉田、松岡、瀬川を派遣する。もう一人参加可能？

(2) 次回の研究会 (第3回合同研究会)

インタビューの日程を優先し、6/19 (金) 18:30 あるいは 6/12 (金) 18:30 を予定する。